



正月の2日、このところ毎年お参りに毎年いっている穂高神社に出かけました。清水高原から波田駅の前を通り、梓川を渡り県道278号線に出る、ここからいつも穂高の山極のそば屋さん(10件以上ある)に向かうお決まりのコースはまずは左に曲がって直ぐ右にはいる坂を登って左に曲がって40mくらいで右に、後はほぼ。道なりに北に進むコース。ファインビュー室山(室山荘)の東側を通り、県道25号線に出て更に1kmくらい進んだ道の脇に見た事のない飾りがあったので写真を取り、ネットで調べてみました。

長野県安曇野市の子ども組が中心の正月の道祖神祭りのひとつであることがわかりました。次第は、安曇野市三郷では、道祖神仲間と呼ぶ子ども組が中心となって盆・正月に道祖神祭りが行われている。なかでも楡(にれ)・住吉、上長尾、北小倉の3地区の祭りは、子どもの行事としての道祖神祭りの多様な姿が見られるとともに、従来からの風習をふまえながら独特な儀礼を展開している。(ネット掲載)

私が通ったところは、北小倉地区でした。北小倉地区の正月の道祖神祭りは、《北小倉の御柱》と言われ、道

祖神の傍らに飾り御柱を立てる行事で、元旦早、朝子どもが地区内を巡り、柱立

てを呼びかけ、大人が木遣り唄に合わせて人力だけで飾り御柱を立てる。上手(わで)、中村、下村の3カ所で行われる。(ネット掲載)

写真ではわかりづらいが、柱の穂先の飾りから中ほどの横筋が何本もある部分などにも、いろいろの飾りが付けられており、非常に綺麗なものであった。

今までの穂高神社へのお参りは違う道を通っていたので分からなかったが、今日は、昨日から泊っていた孫たちと波田で別れて、なにか遠回りして見たい気になり、そこで発見出来てなにか得をした気がした。

